

標準学力調査を受けて

先日、校内研修で標準学力調査の結果をもとに改善の手立てについて研修を行いました。12月に神埼市内で実施された1～4年生の国語・算数の結果を基に、傾向と対策について話し合いました。結果は下記のとおりです。詳細は、31日に配布している個人票をご覧ください。

全国平均と比べると

1年 国語・算数共に同程度

2年 国語は同程度 算数はやや低い

3年 国語・算数共に低い

4年 国語は同程度 算数はやや低い

という状況でした。国語は全校的に順調に伸びていますが、算数に課題が多いことが明らかになっています。原因は複合的ですが、どの学年も「四則計算のミスが多い」「問題文で何を聞かれていて何を答えるべきかを読み取れていない」などが課題として挙げられました。その対策として、

- ◆四則計算の徹底(特に引き算)を日常的にする
- ◆問題文をイメージしながら読む
- ◆条件に合わせて書く練習をする
- ◆段落を意識して文章を書く練習をする 等が出されました。

学校には学力向上の責任があります。学校全体で共通した手立てを取ることで結果が出てきています。今後もこれまで地道にやってきたことを徹底していくことで、子ども達が15の春を笑顔で迎えられる力をつけることを目指していきます。

8日からは、家庭学習頑張り週間第3回目を実施します。

家庭学習

- 毎日勉強をする
- 土日も学習をする
- 学年×10分・10分
- 家庭学習週間 年3回

土日も学習する割合がなかなか安定しないことが本校の課題です。言い訳しないぶれないメンタルを今のうちから鍛えていきましょう。後々大きく成長する礎となるはずです。

給食残菜0週間頑張りました！

どのクラスも残菜0を目指して取り組んでいました。全クラスの頑張りのおかげで、今月は一人当たりの1か月の残菜平均がわずか20gにまで減りました！お茶碗一杯が150gですからいかに少ないかがわかります。

バランスよく食べることは免疫力がアップし病気の予防につながります。この調子で、今月もしっかり食べて健康に過ごして欲しいと思います！



挑戦する姿

27日は神埼市教育委員会主催の「神埼市青少年主張大会」が行われ、小学生から成人の方まで14名が中央公民館ホールにて、日ごろ考えていることから世界規模の問題まで幅広く、発表がなされました。

西部小からは6年の百武さんが、堂々と自分の夢、夢に向かわせてくれているたくさんの人々への感謝を切々と聴衆に語りかけました。自分の夢をもつことは、目の前にある幾多の障壁を一つずつ乗り越えていくことで近づいていくもので、決して遠くて届かないものではないことを伝えてくれたように思います。

午後はアバンセ杯放送コンクールに本校から3名が挑戦しました。70名近く出場するアナウンス部門。アバンセのホール全体が緊張に包まれる中、練習してきた成果を発揮しました。その中で、6年の西村さんが「奨励賞」に入賞しました。

子ども達の挑戦する姿は、見る者の心を打ちます。日曜は、野球部の皆さんが、吉野ヶ里ロードレースに挑戦したと聞きました。

文武両道でがんばる西部っ子！

この調子で力をつけていってほしいです！



<堂々と夢を伝える百武さん>



<落ち着いたアナウンスの西村さん>

夢をもつことの素晴らしさを感じます！